銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎

1月の銅の概況及び2月の見通し（4）

予想レンジ

LMEセツル	8,500－9,500ドル	☂
建 値	131万円－156万円	☂
為 替	150円～160円	円高

（1か月間TTM）

■見通し

◆自動車

12月の自動車生産が－8.5%。1月国内販売台数が前年比＋10.1%。

販売が増加。生産は4か月連続減少。

トランプ関税による自動車販売の影響に注視。

◆伸銅品生産

12月伸銅品生産量速報値は5万1,940トン、前年同月比2.4%減少。2か月連続のマイナスとなった。

伸銅品の各用途別の需要概況は、あまり良い状況にない。これまで伸銅品生産のけん引役だった日系の自動車生産の勢いが、中国向けの不振など減速感が出てきた。半導体向けも伸銅品の需要に直結しやすいリードフレームを使う製品が回復しない。また住宅着工も回復しない

◆電 線

前年比－11.7%の47300ｔ。

うち、国内は－11.7%、輸出が－9.6%、大幅減少。今後に注視。

■スクラップ景況予想

銅建値が143万から148万へ上昇するも再び144万まで下落。

正月休暇から伸銅品生産減。発生減から在庫薄。長期在庫分は相場の急落により売らず買えずの膠着状態。メーカーは材料難ではあるがトランプ関税による影響で様子見。

■LME・為替予想

今月は以下の項目に左右される。

●米とトランプ大統領の関税政策

コロンビアに続きメキシコ、カナダ、そして中国と交渉中ではあるが、あくまで交渉材料の一環で、各国の対応によっては長期化も。世界経済への影響もあり一時的な急落の可能性あり。

●日米首脳会談

2月7日に開催される日米首脳会談での日本への関税やそれに対する日本の対応、代替策がキーポイント。

こちらも一時的な急落要因。これらを踏まえた今月の銅価格は、8,500－9,500ドル（セツル）との予想。

ドル円値は150円～160円（ＴＴＭ）台を予測。

銅建値に関しては131万－156万円程度と予測。

（「1月の銅の概況及び2月の見通し」おわり）

世界を結ぶ循環流通サービス
原料から製品まで
Ogico OGIDANI Corporation
銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般
株式会社 扇谷
本 社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号 tel:06-6444-1521~1530
東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地 tel:03-5282-4800
名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号 tel:052-571-2005
海 外 シンガポール・香港・タイ・台湾・マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム
https://ogico.jp

鋳物用銅合金地金
特殊銅合金各種製造
砲金くず・ラジエーターくず等
角丁原料全般買受け
京和ブロンズ株式会社
京都府久世郡久御山町佐山新開地314
電 話 0774－43－6700(代表)